



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2024.4.17(No.3198)  
週報 No. 38

ロータリーの心で  
友情を深めよう

第2560地区ガバナー／米山忠俊  
会 長／吉井直樹  
会長エレクト／渡辺良一(クラブ奉仕A)  
副 会 長／歸山 肇  
幹 事／小林吾郎  
S A A／野水靖之  
会 計／梨本次郎  
直前会長／西山徳芳  
会長ノミニ／柳取崇之(クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～  
例会場及び事務局／  
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内  
例会場／TEL 34-3311  
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095  
E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
https://www.sanjorotary.site

■本日の出席会員数:55名中40名  
■先々週出席率:83.33%

#### 【ゲスト】

・三條市建設課長 笹倉健児 様

#### 【先週のメイクアップ】

[4.10] 市内7クラブ現・次年度  
会長・幹事会(三條)へ

・吉井直樹さん、渡辺良一さん、  
・小林吾郎さん、船越良則さん

[4.11] 三條東RCへ

・山田富義さん、五十嵐晋三さん、  
・松永隆夫さん、石橋育於さん

[4.11] 燕・分水・吉田・巻RC合同  
観桜会(巻)へ

・杉山幸英さん

[4.15] 三條南RCへ

・丸山行彦さん、小越憲泰さん、  
・松永隆夫さん、斎藤弘文さん、  
・中村和彦さん、山田富義さん



「ハナミズキ」

## 会長挨拶

吉井直樹 会長



こんにちは。

桜もここ数日の暑さにより葉桜に一気に進んでしまったようです。

先日は三條市が全国で1地番気温が高くなり全国ニュースで放送され、同じ日にNHKの「鶴瓶に乾杯」という番組で三條が取り上げられていたようです。早速関東に在住する私の知人よりたくさんのメールをいただき改めてマスコミの影響に驚いてしまいました。

その中で取り上げられた市内の企業さんの製品が話題となり、送ってほしいとの要望があったので早速買いに行ったのですが、すでに売り切れていました。せっかくなので、その旨を伝え、ぜひ実際に三條に遊びに来てほしいと要望したら、この夏にも来てみたいと返信いただきました。良い勧誘ができたものだと思います。

さて、前に皆様に報告させていただきました70周年準備プロジェクト委員会ですが、斎藤会員に委員長を引き受けていただきました。そして、これから周年までの会長幹事にてメンバーとなり70年事業を考えていきたいと思っています。



世界に希望を生み出そう

2023～2024 年度国際ロータリーのテーマ

第一弾として、これも今年度の理事会では承認いただいた、私立大学への国旗掲揚塔を寄贈することを進めていきたいと思っております。特にこれは現在の一期生が卒業するまでに間に合わせたいと思っています。この委員会に参加していただけるメンバーがいらっしゃいましたら是非斎藤委員長または私までご連絡ください。よろしくお願いたします。

## 幹事報告



### 小林吾郎 幹事

◎地区事務所より

「台湾東部地震における支援金のお願い」

◎三条ローターアクトクラブより

「4月第二例会のご案内」

日 時 4月18日(木) 19:30～

会 場 リサーチコア 4階・異業種交流室

◎南雲ガバナー事務所より

「2024-25年度 地区研修・協議会のご案内」

日 時 6月1日(土) 10:00～

会 場 アオーレ長岡

(一部セッションは長岡グランドホテル)

## ニコニコBOX

吉井直樹会長

桜が、ほぼ散ってしまいましたが、これからゴールデンウィークにむけて良い天候に恵まれる事を願っています。

本日の卓話、笹倉様宜しくお願いたします。

松永隆夫さん

先週の職場例会に多くご参加いただき、ありがとうございました。

小林吾郎さん

月曜日の32℃、日本一の暑さにはびっくりしました。

成田秀雄さん

先の日曜日、プリマヴェーラ声楽コンクール東日本準本選20才以上の部で若者に交じって歌って来ました。楽しかったです。

笹倉様、卓話よろしくお願いたします。

嘉瀬一洋さん

今年も会社の入口にツバメが巣作りを始めました。

無事に巣立つまで見守ってあげたいと思っております。

野崎喜一郎さん

3番目の孫が小学校に入りました。子供の成長が楽しみです。

荻根澤隆雄さん

先週の職場例会に於いて職業奉仕委員長の松永さん、親睦委員の皆様ご苦勞様でした。お陰様にて楽しかったです。

中村友昭さん

日曜日に近くの鳥屋野湯公園に花見に行ってきた。満開の桜とビールを満喫しました。

西山徳芳さん

育苗ハウスでは稲が芽を出し五月を待っています。

笹倉様、今日はありがとうございました。

梨本次郎さん

先週、四国の剣山と福井の荒島岳に登ってきました。二日間とも快晴で気持ちの良い時間を過ごしました。

杉山幸英さん、 中村和彦さん、 斎藤真澄さん、

小林卓哉さん、 斎藤弘文さん、 落合孝夫さん、

石橋育於さん、 歸山 肇さん、 金子俊郎さん、

五十嵐博宣さん、 柳取崇之さん、 石倉政雄さん、

船越良則さん、 松永一義さん、 石黒良行さん、

中林順一さん、 小出子恵出さん、 安達俊明さん、

外山浩玲さん、 山田富義さん、 早川滝徳さん、

高橋 司さん、 飯塚一樹さん

笹倉健児様を心より歓迎申し上げます。

本日は卓話ありがとうございました。お話楽しみにしております。

4月17日分 ￥ 34,000

今年度累計 ￥1,219,000

# 「卓 話」 「三条市の道路ネットワークについて」



## 三条市建設課長 笹倉健児 様

三条市建設課長の笹倉でございます。本日はこのような機会をいただき、ありがとうございます。

それでは、「三条市の道路ネットワークについて」と題しまして、ご紹介をさせていただきます。

と思います。

この資料の主な構成といたしましては、1から5まで、御覧のとおりでございます。

時間の都合により、メインとなる2

の「三条市における道路事業」という部分を中心に御説明させていただき、ほかはある程度説明を割愛させていただきますのでよろしくお願いいたします。

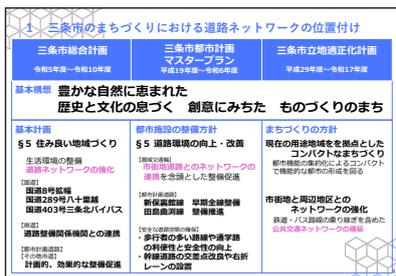
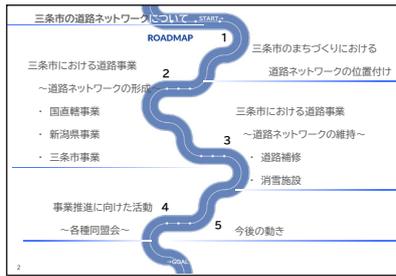
三条市における道路ネットワークの位置付けということで、まずは各策定計画の関連性についてお示ししたものでございます。

それぞれの計画が整合をとり、また、上位計画に即しているということをお示したものでございます。

市の根幹となるそれぞれの計画の中で、道路ネットワークはどのような位置付けかというものがコチラになります。

まずは、いずれの計画も基本構想としては、長年変わらず「豊かな自然に恵まれた 歴史と文化の息づく 創意にみちたものづくりのまち」を掲げております。

昨年度に策定しました三条市総合計画におきましては、「道路ネットワークの強化」という項目を掲げており、国道8号の拡幅や、国道289号八十里越の開通、国道403号北バイパスの開通に向けた、国、県などとの連携についても力を入れているところであります。



三条市都市計画マスタープランの中では、都市施設の整備方針として一番に道路についての目標が掲げられており、市街地道路とのネットワークを意識した目標設定となっております。

ここからは、本題であります、三条市内の道路事業について、ご紹介いたします。

まずは、国土交通省による事業といたしまして、国道289号八十里越事業についてでございます。

国道289号は、新潟市を起点に福島県いわき市に至る約280kmの道路でございます。

このうち新潟・福島県境部の通行不能区間解消を目的に、新潟県三条市から福島県南会津郡只見町まで延長20.8kmを、「国道289号八十里越」として、新潟県、国土交通省、福島県がそれぞれ事業区間を分けて工事を進めており、国土交通省長岡国道事務所において、地形的に一番厳しい部分の約11.8kmを直轄権限代行業として実施していただいております。

国道289号の新潟・福島県境部の現道区間は、19.1kmが通行不能区間となっており、現在は大幅な迂回を強いられています。

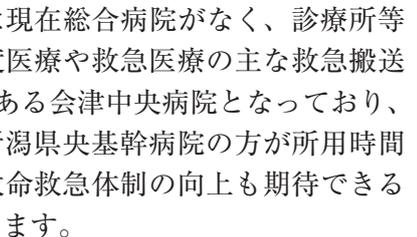
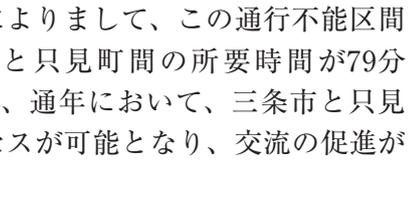
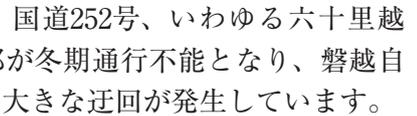
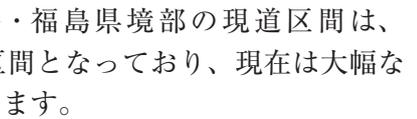
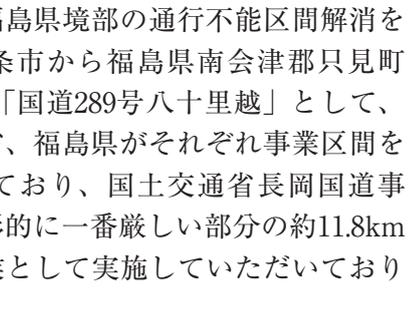
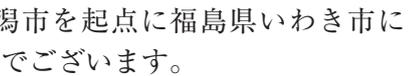
さらに冬期間は、国道252号、いわゆる六十里越の新潟・福島県境部が冬期通行不能となり、磐越自動車道経由のさらに大きな迂回が発生しています。

八十里越の整備によりまして、この通行不能区間が解消され三条市と只見町間の所要時間が79分(約50%)に短縮され、通年において、三条市と只見町間の容易なアクセスが可能となり、交流の促進が期待されます。

また、只見町には現在総合病院がなく、診療所等では対応できない高度医療や救急医療の主な救急搬送先は、会津若松市にある会津中央病院となっており、令和6年3月開院の新潟県央基幹病院の方が所用時間が短くなるなど、救命救急体制の向上も期待できるというものでございます。

こちらは現在の概成しました5号橋梁、3号盛土の状況となっております。

令和5年12月に国土交通省から供用時期の見通しが発表され、供用時期は令和8年秋～令和9年夏となる見込みであるというところでございます。



また、福島県施工区間の、(仮称)平石山トンネル区間において、用地取得に時間を要していることや、追加の雪崩対策が必要となることの課題が発生しており、開通の際には、一部で現在の道路を活用した暫定開通となり、冬期間は通行止めとなることとなりました。

供用後に条件は付いてしまったものの、供用を一日でも早く望むことには変わりはありませんので、今後も引き続きしっかり要望をおこなっていきたくと考えております。

ちなみに今後の市の取り組みとして、左の写真の5号橋梁などの一部の橋とトンネルについて、名称の公募を計画しております。

続きまして、国道8号栄拡幅事業でございます。国土交通省長岡国道事務所による事業となりますが、国道8号栄地域、一ツ屋敷新田から千把野(せんばの)新田までの、現在2車線となっている区間、延長3.2kmについて4車線化を行うものとなります。

事業の目的としましては、交通渋滞の緩和、交通事故の減少、冬季交通の確保、そして隣接します工業流通団地をはじめとした地域産業の活性化を図るものとなっております。

工業流通団地につきましては、おかげさまで9割以上の面積の売却が決まっているところでございます。

この事業は令和4年度に事業化されまして、昨年度から測量設計を行っていただいております。昨年12月13、14日と自治会や地権者を対象とした事業説明会が実施されております。

右側に事業の流れを記載していますが、今後、用地幅杭の設置を行うべく、説明会で出ました意見、要望を整理していただいているところでございます。こちら全線開通を早期に願い、しっかりと要望活動を進めてまいります。

続きまして、新潟県による道路事業の紹介をさせていただきます。

国道403号三条北



バイパス事業についてでございます。

国道403号は新潟市中央区から長野県に至る国道であります。このうち三条北バイパス事業は田上町から三条市塚野目までの間を整備するものとなっております。約8.3kmの事業区間の全線が、令和6年3月23日に供用を開始いたしました。

その先、市役所方面に向かい、新保裏館線まで接続する事業の早期着手に向けて、引き続き要望をしております。

続きまして、同じく新潟県事業となりますが、国道289号、第二産業道路の交差点対策事業についてでございます。

皆さまも感じられていることと思いますが、朝夕の通勤時、休日など、第二産業道路は時間帯により混雑しており、新潟県の対策といたしまして、まずは写真にあります、荒町2丁目交差点付近の対策に着手しております。

現状では、石上大橋から市役所側へ向かう際、片側2車線ずつあると思います。

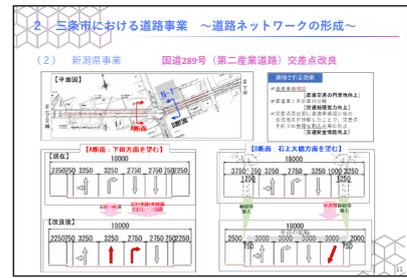
まず、石上大橋上では、左レーンは加茂方面に向かう堤防へ左折する車が多く混雑し、一方右レーンは石上大橋を渡った際、左折車で空いた隙に、左レーンに入るといった実態がございます。

そして、石上大橋を越えて、荒町交差点に差し掛かる際も、左折レーンに入れなかった車が右折レーンから左折レーンに移動、また、これら2車線から1車線に変わることを知らないドライバーなどのレーン移動が起きている現状です。

これらの交通が輻輳する実態を解消するべく、直進車線の増設、直進車と左折車のレーン分離を行い、合流地点を移動することで交通処理能力と安全性を向上させようというのが、この交差点改良になります。

左側下段の赤字、赤囲みの部分ですが、平面図のA断面と書いてあります、荒町二丁目交差点の石上大橋を背にして、市役所側を向いている場合です。

赤囲みの中の上の現在という絵をご覧ください。ご存じのとおり、両側に歩道があり、車道は左から直進左折レーン、右折レーン、そして対向車の2車線があります。これを下の改良後という絵のとおり、右折レーンを対向車の1車線を無くして、右にずら



します。また現在の右折レーンは直進レーンにします。  
このことにより、石上大橋上で右側車線にいますと、今は右折に変わるレーンがそのまま直進できるようになります。左折レーンは堤防道路に曲がる車、その先、信号交差点、荒町交差点で左折する車がメインで利用するものとなります。

続きまして、右側下段の青字、青囲みの部分ですが、B断面と書いてありますケンタッキー様付近の市役所側を背にして、石上大橋方面を見たものです。

歩道幅はそのままにして、植樹帯部分のみを撤去し、車道1車線分にあてることで、2車線から1車線に絞り込むレーンを増やします。

この対策により、車の流れが円滑になり、渋滞対策になると期待しているところです。

また、県からは、荒町交差点以外の交差点でも、第二産業道路の渋滞対策を検討いただいているところです。

続きまして、都市計画道路三条四日町線、道路名称でいうと主要地方道長岡見附三条線の南四日町2～4丁目に当たる区間の道路事業についてでございます。



延長約520m、道路を広げて歩道を両側に設置し、歩行者の安全性を確保することを目的としております。

付近には第一中学校、嵐南小学校、県央工業高校や商店、病院等があり、歩行者、自転車が多いにも関わらず、沿線企業関連の大型車交通の往来が多い状況でございます。

令和3年度に事業化されました、現在、橋の設計や用地測量を実施していただいているところでございます。

続きまして、三条市の道路事業についてご説明いたします。



まず始めに、皆さんご存じかと思いますが、昨年末に道路工事が概ね完了し、全線供用を迎えました大島164号線です。

全線1,750mの市道のうち、令和5年3月に農地を買収させていただいた部分、水色の部分ですが、新規区間として650m供用し、赤い部分、1,100mの現道の拡幅区間も昨年12月に完了しております。

この道路は県央基幹病院が建設されることをきっかけに事業化したものとなります。

以前は上の図面のような、田んぼ側が蓋の無い水路となっていました。

用地買収を約50cmさせていただき、蓋のある側溝を再整備することで、車道部の幅員を2m増加することができました。

この2mというものは、下の絵にあるような救急車両が、サイレンを鳴らし中央を緊急通行する際、例えば大型車両が両側にいたとしても、路肩に寄せてもらえれば通過ができる幅員として整備したものでございます。

左が、昨年12月に撮影した、現道拡幅区間の完成後の写真、右に少し見えるのが県央基幹病院です。



右の写真が昨年度末に新規整備区間を供用したあとに撮影した写真となります。



三条市から燕・弥彦方面に行く際、非常に便利になったと思っておりますので、まだ利用していない方がいらっしゃいましたら、是非とも一度利用してみてください。

続きまして、同じく県央基幹病院周辺の道路整備についてでございます。



市道上須頃262号線として整備を進めます、国道8号のマクドナルド様から入り、ムサシ様を過ぎたところで、右側の農地に新たに道路を作る計画となります。

終点は三條市立大学前の道路となり、大学や専門学校、県央基幹病院などへ直接アクセスする道路となります。

先ほどご紹介しました大島164号線沿線や、三條市立大学付近に予定されている商業施設の整備が進んでいくことで、周辺の将来交通量が増加することが見込まれることから、先行して整備を進めていくことといたしました。

写真にもございますが、新幹線の高架部、Nexcoのボックスカルバートをくぐるなど、関係機関と協議する事項が多く、また多くの農地の用地買収が必要になりますが、今後スピード感を持って用地交

涉を進めていきたいと考えています。

左側の写真が大学の真上から国道8号側を撮った写真となります。

赤い線のところに道路を新たに作るイメージとなります。

また、右側に写真がありますが、これは現在の道路になります。

バイパスを整備し、交通処理を行う予定とはしてありますが、現実として元々ある現道にも多くの交通が流入すると想定されます。

これらのことから、現道の一部も拡幅改良に着手する予定としています。

上須頃262号線は片側歩道で、先ほどご説明しました大島164号線と同様に、緊急車両が通過できるような道路幅としています。

また、スケジュールとしては、現在設計を進めているところであり、今年度から用地交渉を進め、あまり時間をかけずに供用できるように頑張りたいと思います。

現道の拡幅事業については、バイパス工事が終わり次第、工事着手を予定しています。

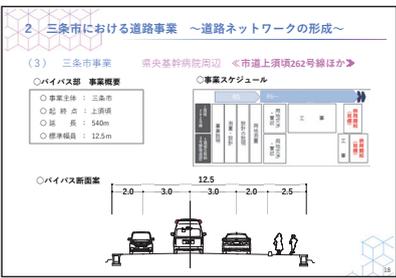
続きまして、国道403号三条北バイパスにも関連します、市道新保裏館線の北工区についてです。

先ほどご説明しました、新潟県様が短期的対策として行う第二産業道路の渋滞対策と同様の、渋滞対策の抜本的な対策と位置付けております。

地図の上側に見えます青色の線が、国道403号三条北バイパスの先線、また東西の線が国道289号バイパスとなり、都市計画道路になっております。

これらの道路が完成して初めて、真の渋滞対策になると位置付けしております。

新保裏館線については、昨年度から調査を行っており、今年度は未整備区間1,040mの測量を進める予定としております。



この航空写真は先ほどの地図を南北逆に撮影したイメージとなります。

このように市役所側は多くの宅地が形成され、国道403号バイパス側と接続する側は農地となっております。

断面は両側歩道の18mとなっており、市役所前と同じようになるイメージをしていただければと思います。

先ほども申しましたが今年度測量を実施し、令和7年度から設計を進めることとしており、道路法線、用地幅が決定していくと考えております。

農地部分は遺跡調査も想定されておりますことから、工事完了には時間がかかると思っておりますが、接続する国道403号バイパスとも足並みを合わせる必要があると考えているところです。

続きまして、都市計画道路田島曲測線です。

田島曲測線は今から約10年前に田島橋たもとから約400mを整備した後、並行します新保裏館線の開通が迫ったことがあり、事業を一時中断していた経緯がございますが、改めて令和2年度に事業化しました。

新保裏館線の供用後、沿線には店舗が建設され、宅地開発が行われた結果、朝夕の時間帯が特に混雑しています。

並行する田島曲測線が、その混雑解消の一助となると考えています。

現在は、設計が完了し、沿線土地所有者の御協力もありまして、用地買収も概ね完了しております。

国土交通省様の河道掘削土砂をいただきながら、載荷盛土という、事前に圧密をする工事を進めております。

新通川を渡りますので、これから橋梁の新設など、大きな構造物の施工がございますが、できる限り早



く供用できるようにしていきたいと思ひます。

続きまして、国道403号三条北バイパスの関連としまして、牛ヶ島踏切拡幅事業をご紹介します。

繰り返しになりますが、国道403号三条北バイパスの供用に伴い、この牛ヶ島踏切を通過する市道松ノ木合屋線などは、加茂方面と嵐南、見附市方面を繋ぐ外環状線的な道路としての役割が、今より更に大きくなると想定されます。

そんな中、牛ヶ島踏切は幅員3.0mしかなく、お互いが手前で待ち、交互に通過している状況です。

また、大型車通行規制が掛かっていることから、大型車は隣の鶴田踏切を利用しています。この路線は、大崎学園の前の道路と繋がっており、児童生徒の登下校に危険が生じている状況です。

牛ヶ島踏切を拡幅改良し、大型車通行規制を解除することで、市道松ノ木合屋線に大型車を誘導し、児童生徒をはじめとした歩行者の安全を確保したいと考えております。

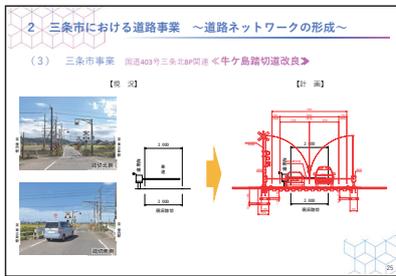
JR東日本によりますと、令和6年夏頃から工事に着手し、令和7年度末の供用を目標としています。なお、この期間は通行止めとなることから、付近の踏切を利用していただくこととなりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

御覧のように、左側の現況の3mに対して、右側のような7mに広げる計画となっております。

続きまして、市道大島萩島線の改良事業についてご説明いたします。

市道大島萩島線は国道403号三条北バイパスの終点となります、県道塚野日代官島線を信濃川方面に行き、景雲橋を渡った橋詰を左折し、国道8号の大島地区に出る信濃川左岸堤防道路です。

現在、燕市方面と加茂市方面とを繋ぐ道路として通過交通の利用が多くあり、写真にあるように延長約2kmのうち、用水取水口や堤防坂路などの4箇所の狭隘部がございます。これらを拡幅改良し、通過交通を円滑に流せるようにしたいと考えております。



この大島萩島線は信濃川の河川区域であることから、現在、国土交通省と河川協議を行いつつ、また、国道8号に接することから、国土交通省や警察などと交差点協議も並行して設計を進めているところです。

河川協議では、上の図のように堤防を腹付け盛土して拡幅する区間や、下の図のように、現在の堤防上まで市道を上げて、狭隘区間の対処をする案を併用しながら進めております。

今年度には工事に着手したいと考えております。

道路ネットワークに関する最後の紹介になります。

先ほど紹介しました牛ヶ島踏切拡幅の路線の北側、南側の交差点改良についてでございます。

北側の交差点改良でございますが、上の写真が示す、井栗小学校近くの国道403号現道との交差点です。右折レーンがないため、右折車両がいると後続の直進車両が進めず、交差点での交通処理が好ましくない状況です。

これを解消するため、レーンを増やす計画として、用地買収を含めて、現在、測量から進めているところです。

南側の交差点改良でございますが、下の写真が示す、大崎学園付近の県道大面保内線との交差点です。こちらは交差点の形状が小さく、大きい車両も多く通るため、市道側に停止中の車両がいる場合、県道からの左折がしにくく時間を要するため、速度が著しく低下します。

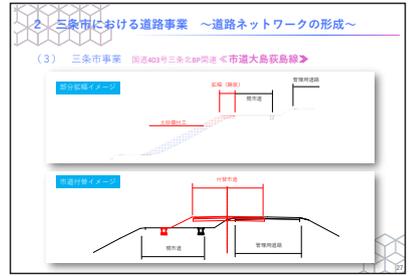
これを解消するため、交差点の隅切りを設置する計画として、こちらも用地買収を含めて、現在、測量から進めているところです。

この路線は、図にありますとおり、三条北バイパス方面と嵐南方面とを繋ぐ、重要な路線であると認識しており、牛ヶ島踏切拡幅と合わせて、局所的な対応をしていきたいと考えております。

続きまして、通学路の安全確保について少し触れてみます。

令和3年6月に千葉県八街市(やちまたし)で、下校途中の児童の列にトラックが突っ込む痛ましい事故が発生しました。

この事故を受け、国は全国に危険な通学路がない



か点検するよう指示し、三条市でも学校を中心に  
一斉点検を実施、結果として三条市道では33箇所の  
危険箇所が挙げられました。

現在、栄北小学区の今井野新田1号線と先ほど紹  
介しました牛ヶ島踏切とを残して、ほかの31箇所につ  
いては完了しています。

写真でビフォー  
アフターを紹介し  
ます。

まずは三条地区、  
左上の大崎学園学  
区では、歩道整備、  
右上の一ノ木戸小  
小学校区では蓋の無い水路を蓋つき側溝に入れ替え、  
グリーンベルトを整備しました。

(グリーンベルトというのは、用地の制限がある通  
学路に対して、路側帯を緑色に着色して、車両の運  
転手に通学路であることを視覚的に認識させ、車両  
の速度を抑制させる有効な手法とされております。)

左下は、月岡小学区ですが、グリーンベルトを  
利用しつつ、狭窄、狭いと錯覚する部分を作って、  
よりドライバーに減速を促します。

右下は、裏館小学区、市役所前ですが、これは  
歩道の切れ間を歩道と高さを合わせることで車道を  
盛り上がりさせ、物理的に減速を促すと共に、緑色の  
着色を行い注意を促す取り組みです。

続きまして、栄  
地域です。

全て栄北小学区  
になりますが、左上  
はグリーンベルト  
と横断部分を一体  
化させているもの、  
左下はグリーンベルトの整備です。

右上は歩道整備。

右下は先ほど、完了していない中の一つになり  
ますが、今井野新田1号線です。

歩道整備を行っていますが、今年度中の完成を  
目標としています。

続きまして、下田  
地域です。

左上は大浦小学  
校区、歩道整備、  
左下は横断歩道前  
に滞留空間を整備  
し、横断者をドラ  
イバーに認識させる対策です。

右上は、グリーンベルトの整備。

右下は、家屋がない通学路への下校時、夕方の



対策として街灯整備を行ったものとなります。

令和7年度に牛ヶ島踏切が完了することで、三条  
市道での要対策箇所33箇所は全て完了することになり  
ます。

続きまして整備  
した道路ネットワ  
ークを健全な形で維  
持していくために、  
市では道路施設の  
補修工事を各所で  
行っております。

主な工事としましてアスファルト舗装と消雪パイ  
プの補修工事について紹介させていただきます。

令和5年度の舗装補修工事は、写真にごぞいま  
す新保裏館線・支所土場線・飯田原二日町線など29  
路線の舗装補修工事をを行いました。

また令和6年度については、一中裏通り線・福島  
新田甲13号線などの舗装補修工事を予定してい  
ます。

消雪パイプの新  
規整備と、老朽化  
等による更新の紹  
介をいたします。

毎年、主要幹線  
道路への消雪パイ  
プ整備、更新を実施

しており、今年度の実施箇所としまして、新設整備  
は、三条高校前付近の新保裏館線の整備と県央基幹  
病院周辺道路へ施工しました。

来年度は残った県央基幹病院周辺道路を中心に  
整備を進めていきたいと考えております。

更新工事ですが、今年度は東三条三竹線・上保内  
下保内線など6路線の消雪パイプの更新工事と2路線  
の井戸掘替工事を行っています。

令和6年度は上保内下保内線などの消雪パイプ  
更新工事と1線の井戸掘替工事を予定しています。

ここからは、事業  
推進に向けた同盟  
会活動についてご  
紹介いたします。

同盟会活動の一  
つ目は、国道289号  
線建設期成同盟会

でございます。国道289号線は新潟県新潟市を起点  
として、福島県いわき市に至る幹線道路であり、新  
潟・福島両県はもとより東北及び北陸地方の産業、  
経済、文化の新たな交流による地域経済の好循環や  
救急時の搬送強化等生活環境の改善を図るために  
も、極めて重要な役割を持つ路線です。



しかしながら、皆様もよくご存じのとおり、新潟・福島両県境の山岳地帯にある「八十里越」については、いまだ交通不能となっているため、本来国道が担うべき役割が十分に果たされていないのが実情です。

3月に済生会新潟県央基幹病院が開院し、八十里越が全線開通すれば、福島県の南会津地域からの救命救急体制が格段に向上いたします。本線が全線開通することにより、磐越自動車道、国道49号が通行止めとなった場合などの代替路線となりますが、迂回に要する時間の短縮など、広域的な効果が見込まれます。災害時の広域ネットワークとして一日も早い全線開通に大きな期待が寄せられています。

令和5年12月15日に「令和8年秋～令和9年夏となる見込み」と公表され期待が高まっており、引き続き早期開通に向け活動を継続してまいります。

【国道(289号)八十里越「地点開発」促進期成同盟会】でございます。

国道289号のうち、八十里越地点約20.8kmの早期開通

の実現を期することを目的として、関係ある市町(三条・只見)及び議会議員をもって組織されています。

県境の9号トンネルが平成22年11月に貫通しましたが、一日も早く全線開通することを熱望し、国道289号線建設期成同盟会等と緊密な連携を図りながら活動をしています。

R289(るーとにーぱーきゅう)フルコース踏破事業、三条市と只見町の交流事業の補助、工事の進捗状況の視察、予算確保のための要望を実施しています。

国道403号線整備促進期成同盟会及び県央基幹病院設置に係る道路等環境整備促進期成同盟会についてでございます。

国道403号は、新潟県の中央部を縦断し、磐越自動車道、北陸自動車道、上越新幹線などの高速交通網にアクセスするために極めて重要な道路であり、また、地域の利便性の向上、交通渋滞の緩和、3月に開院した済生会県央基幹病院に至る道として救急医療体制に大きな役割を果たしています。3月に一般国道塚野日代官島線までの区間が開通しましたが、三条市の国道289号バイパスまでの間で事業化されていない区間があり、これを事業化し、整備するためには、さらに年月がかかるものと思われま



国道403号線整備促進期成同盟会は、一刻も早い国道403号バイパス全線の完成を強力に推進するための活動をしています。

また、県央基幹病院設置に係る道路等環境整備促進期成同盟会は、済生会新潟県央基幹病院の設置を据えた周辺の道路、橋梁等整備について、平成27年7月の基幹病院設置に係る道路等環境整備促進期成同盟会立以来、要望活動を継続しています。

新潟県は済生会新潟県央基幹病院の開院予定日を令和6年3月1日と決し、メディカルスタッフの募集を開始しました。一分一秒でも早く救急患者を病院に搬送し、その命を守り抜く必要がありますが、基幹病院に至るアクセス道路については慢性的な渋滞が各所で発生しており、その解消に向けたアクセス道路等の早期環境整備や、病院周辺地域の冠水対策に万全を期することが必要不可欠です。開院まではもちろんのこと、開院後においても、各地域からのアクセス道路や病院周辺環境整備などが、速やかに実現されるようお願い、要望活動を展開しています。

国道8号栄地域4車線化整備促進期成同盟会についてでございます。

国道8号は、北陸道に近接し三条市を南北に縦断する「ものづくりのまち 三条」を支える広域的な物流を担う重要な幹線道路です。

栄地域においては、良好な立地条件を生かすため、国道8号及び北陸道栄スマートインターチェンジの隣接地に工業流通団地が造成され、市内外の企業が進出しており、地域産業の成長と発展の基盤となる国道8号を中心とした広域道路網の重要性は高まっています。現在改良工事中の区間を含め、栄地域における約4キロメートルの区間が2車線区間であるため、慢性的な渋滞や交通事故が発生しています。

また、近年の異常降雪時においては、並行する北陸道が通行止めとなり、国道8号に交通が集中したため交通障害が発生し、ダブルネットワークが機能不全に陥り、経済活動や市民生活に多大な影響を及ぼしたところであり、国が進めている防災・減災、国土強靱化の必要性を認識させられているところがございます。

このような事情から、国道8号栄拡幅事業による4車線化整備を更に促進し、地域経済や市民生活を支える重要物流道路として、県央基幹病院への命の道として、国道8号がより一層機能するよう、要望している同盟会でございます。



国道289号バイパス(仮称)石上大橋下流橋等建設促進期成同盟会についてでございます。

間近に迫った国道289号八十里越区間の

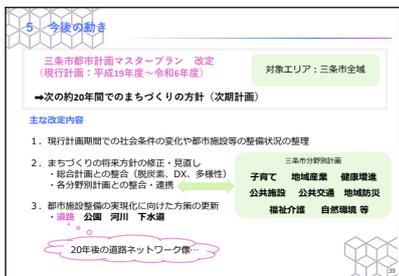
の開通や、3月に済生会新潟県央基幹病院の開院など、今後の交通需要の変化を想定した効果的な道路ネットワークの早期構築をこれまで以上に強く訴えていかなければなりません。

令和5年7月9日に県央5市町村で構成される国道289号バイパス(仮称)石上大橋下流橋等建設促進期成同盟会の総決起大会では400人以上の方が参加し、国道289号バイパス(仮称)石上大橋下流橋建設の促進の要望などを宣言しました。

今後も引き続き、県央地域の道路ネットワークの早期構築を求めてしっかりと活動をしてまいります。

今後の動きについてでございます。

冒頭にお話しました現行の都市計画マスタープランの目標年が令和6年となっていることから、次期都市計画マスタープランにつきましては、令和7年度中の公表を予定しているところでございます。



主な改定内容としましては、約20年ぶりの都市計画マスタープラン改定となりますので、まずは市の概況の時点修正や、現状の都市施設の整備状況の整理をいたします。

2つ目として、まちづくりの方針についてをこの先20年バージョンに変更します。

・現在の三条市総合計画で謳っている、脱炭素やDXといったこれまでの計画になかった視点を入れた内容への変更や、・子育てや公共交通などといった、様々な分野での現状の計画とも整合のとれた内容に修正して頂く必要があります。

3つ目として、都市施設整備の実現化に向けた方策の更新になります。

・道路整備につきましては、現行計画で将来目標としていた、国道8号栄拡幅や、国道289号八十里越、国道403号バイパスの整備も進み、都市計画道路田島曲渕線は全線事業化となっている中で、次はどこに向かって力を注いでいくかというところについて、精査して行きたいと考えております。御清聴ありがとうございました。



# 三条 RC ゴルフ同好会 第95回ゴルフ大会成績表

第95回三条ロータリークラブゴルフ同好会コンペが、4月11日(木)にヨネックスカントリークラブで開催されました。天候は素晴らしい晴れで絶好のゴルフ日和でした。夜は表彰式で9名の参加で和やかなうちで行われました。

## 第95回大会成績 ハンディ戦

優勝	相場	弘介
準優勝	小越	憲泰
第3位	重山	直明
第4位	中村	和彦
第5位	丸山	行彦
第6位	柳取	崇之
第7位	野崎	喜一郎
第8位	杉山	幸英
第9位	渡辺	良一



## 例会の様子



# 5月の行事予定



三条ロータリークラブ例会日

日	月	火	水	木	金	土
			1 ◆三条RC 休会(祝日の週)	2 ◆三条東RC 休会 (記帳できます)	3 憲法記念日	4 みどりの日
5 こどもの日	6 振替休日 ◆三条南RC 休会	7 ◆三条北RC 「クラブフォーラム」 森 宏 会長	8 ◆三条RC 「会員卓話」 野崎喜一郎 会員	9 ◆三条東RC 「青少年奉仕月間」 本多昭一 青少年奉仕委員長	10	11
12	13 ◆三条南RC 「第一例会」	14 ◆三条北RC 「青少年奉仕月間」 第2560地区 青少年奉仕委員長	15 ◆三条RC クラブ休会	16 ◆三条東RC 「家庭会合」振替 (記帳できます)	17	18
19 分水RC 50周年	20 ◆三条南RC 「外部卓話」 新潟経営大学 理事 地域連携課長 佐藤卓之 様	21 ◆三条北RC 「ガバナー卓話」 米山忠俊 ガバナー	22 ◆三条RC 「外部卓話」 東京電力ホールディングス(株)新潟本社 副代表・理事 栗田隆史 様	23 ◆三条東RC 「家庭会合」振替 (記帳できます)	24	25
26	27 ◆三条南RC 「今年度を振り返って」 熊倉高志 会長	28 ◆三条北RC 「家庭会合報告会」 武田恒夫 会長エレクト	29 ◆三条RC 「会員卓話」 松永一義 会員	30 ◆三条東RC 「クラブフォーラム・ 組織強化委員会」	31	

※ 近隣RC例会変更のお知らせ! (記帳できます)

●加茂RC

5月16日(木) 夜例会

記帳場所

加茂市産業センター

次週例会 5月1日 休会(祝日の週)

次々週例会 5月8日 「会員卓話」 野崎喜一郎 会員

